

日常の指導体制

管理職	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校いじめ基本方針 ・ 風通しのよい職場環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめを許さない姿勢 ・ 保護者・地域との連携

いじめ対応チーム	
<p>【構成員】</p> <p>校長、教頭、副教頭、生徒指導部長、生徒指導主任、学年主任、学年生徒指導担当、養護教諭、スクールカウンセラー 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ防止基本方針の見直し、改善 ・ 年間指導計画の作成、実施、改善 ・ 校内研修会の企画・実施 ・ アンケート結果、報告等情報の整理・分析 ・ いじめが疑われる案件の事実確認・判断 ・ 要配慮生徒への支援方針 	

未然防止	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習における規律作り ・ 学びに向かう集団作り ・ 意欲的に取り組む授業研究 ○ 特別活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームルーム活動の充実 ・ 部活動の充実 ○ 教育相談の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 面談の実施 ・ スクールカウンセラーの活用 ○ 人権教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権意識の高揚 ○ 情報教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報モラルの指導の充実 ・ ネット犯罪防止講演会の開催 ○ 保護者との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ防止基本方針の周知 ・ 保護者面談の実施 	

早期発見	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の観察による気付き ・ 養護教諭からの情報 ・ 生徒・保護者・地域からの情報 ・ 休み時間の巡回指導 ・ 学期ごとのアンケートの実施 ・ 定期的な面談における情報 ○ 相談体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・ 担任による積極的声かけ ・ スクールカウンセラーの活用 ○ 情報の共有 <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告の徹底 ・ 職員会議等での全職員の情報共有 ・ 要配慮生徒の実態把握 ・ 次年度への申し送り事項の徹底 	

組織的対応

いじめ情報のキャッチ

← 日常の観察・アンケート・生徒からの訴え 等



正確な実態把握

当該生徒の学年主任・担任団による事情聴取
→ 生徒指導部長・主任、教頭・副教頭へ報告
→ 校長への報告
※保護者に対しては事実確認後連絡



指導体制・方針決定

いじめ対応チームの招集・指揮（校長）

【いじめ対応チームで緊急対策会議を開催】

- ① 正確な実態の把握、チーム内での共通理解
- ② 調査方針及び分担の決定
- ③ 正確な実態把握後、チーム内で指導方針決定

※暴力・恐喝等の犯罪行為等、学校だけでは指導が困難な場合、または重大な事案があった場合は関係機関に支援を依頼する。

須磨警察生活安全課少年係 (078-731-0110) 長田警察生活安全課少年係 (078-578-0110)

垂水警察生活安全課少年係 (078-781-0110)

神戸西部少年サポートセンター (078-578-4395)

神戸垂水少年サポートセンター (078-707-3344)



生徒への指導・支援

- ① 加害生徒への指導
- ② 被害生徒へのケア
- ③ いじめ解消に向けた全体指導
- ④ 保護者との連携



今後の対応

- ① 経過観察を行い、事後も継続指導を行う。
- ② スクールカウンセラー等の活用も含め、心のケアをする。
- ③ 再発防止・未然防止活動の継続

※生命又は身体の安全が脅かされるような重大事案が発生した場合

- ① 速やかに県知事や警察等の関係機関へ報告する。
- ② 事案によっては、当事者の同意を得た後、説明文書配布や緊急保護者会を実施する。
- ③ マスコミ対応は情報の窓口を一本化する。

※ネット上でのいじめへの対応

ネットを利用したいじめは、その匿名性のために罪悪感が低くなりがちである。相手の気持ちが届きにくく、いじめがエスカレートしやすい上に、拡散する危険性がある。

- ① ネットに関する正しい知識を提供するとともに、面談等で情報を積極的に収集する。
- ② 誹謗中傷を書き込むことはいじめにもつながり、悪質なものは警察に検挙されること等を生徒に認識させ、情報モラルの指導を折りに触れてこまめに行う。

年間指導計画

		職員会議等	未然防止に向けた取り組み	早期発見に向けた取り組み
4月	事	いじめ対応チーム 指導方針・計画作成	学級づくり あいさつ運動	
		西地区生徒指導協議会	1年生オリエンテーション合宿	
5月	案	神戸西部私学生徒協議会		アンケート①
		神戸市生徒指導連絡協議会		中学訪問による情報収集
			インターネット講習会	
6月	発	長田地区推進委員会		保護者会
7月	生			
8月	時	職員研修		
9月	い	西地区生徒指導協議会	あいさつ運動	
		兵庫県私立中学・高等学校生徒 指導連絡協議会		
				アンケート②
10月	じ			
11月	め	学警合同会議 神戸西部私学生徒協議会		
12月	対	兵庫県高等学校生徒指導協議会		保護者会
		補導専門部会		
1月	策		あいさつ運動	
		西地区生徒指導協議会		
2月	員			
3月	会	いじめ対応チーム	中学校との情報交換	アンケート③
			人権教育講演会	
		神戸西部私学生徒協議会		

※ 緊急対応会議: 事案発生時には、いじめ対応チームによる緊急対応会議の開催で対応

※ アンケートは学期ごとに実施